

発刊にあたって

アップルウェーブ株式会社
代表取締役社長

清藤 哲夫

日頃より、FMアップルウェーブをご聴取いただき誠にありがとうございます。

弊社は、平成12年3月4日の開局以来、「地域の防災」「地域の活性化」「市民情報の共有」を経営理念とし17年間放送を続けてまいりました。これも偏に市民の皆様や関係各位のご協力の賜と深く感謝しております。

コミュニティ放送局は、阪神淡路大震災の際、被災者に寄り添ったきめ細かな情報提供を行ったことから注目を集め、全国的に災害時に有効な貴重な情報伝達手段として、純民間、第三セクター、公設民営など様々な形式で設立が続いております。特に、北国特有の高気密高断熱の住宅の多い地域では、災害時の広報手段である防災無線の音声が届きにくいという状況がありますが、コミュニティ放送は、室内のラジオ、スマートフォンやパソコンなどで手軽に聞くことが可能であり、かつ放送エリアごとのきめ細かい情報を提供することができることから、益々その重要性が注目されています。

当社では、災害発生時などの緊急時でもきめ細かに情報を収集し放送を維持できるよう、スタッフの数、情報協力会や情報特派員という独自の情報収集体制などを維持しながら、緊急時に即座に対応できるように準備を整えています。

このハンドブックは「地域の防災」を経営理念に掲げる弊社として、市民の皆様の防災意識啓蒙の一助になればとの思いから、協賛各社の深いご理解とご協力を賜り発行することとなりました。災害の被害を軽減するためには、普段からの市民一人ひとりの防災意識の向上と備えが重要です。そのためにこのハンドブックをご家族でご覧いただき、いざという時のためにお役立ていただければ幸いです。



目次



- 発刊にあたって 1
- 「防災ハンドブック」の活用法について 2
- FMアップルウェーブで市内の情報をチェックしよう! 3-4

災害を知る・災害に備える

- 水害への備え 5-6
- 土砂災害への備え 7-8
- 暴風への備え 9-10
- 竜巻への備え 11
- 雷への備え 12
- 台風への備え 13-14
- 火山噴火への備え 15-18
- 火災への備え 19-20
- 地震への備え 21-23
- 停電への備え 24-26
- 雪害への備え 27-28

日頃の防災対策

- 災害時の指定避難所 29-32
- 非常持出品リスト 33
- 備えて便利な日用品 34
- 地域で進む防災活動 35
- スマートフォン・携帯電話の活用 36
- 緊急時の連絡先 37
- ご協賛一覧 38

家族全員で確認しておこう

- いざという時の備忘録 35

「防災ハンドブック」の活用法について



POINT 1 過去の災害を知り もしもの時に備えましょう

- 災害別に、FMアップルウェーブの取材・中継実績をベースに、弘前市で過去に発生した災害や、今後の被害想定を示しています。
- 災害への日頃の備え、発生前の切迫時や発生時の行動について説明しています。

弘前で起こりうる被害を理解し、今やるべき備えを進めましょう。

POINT 2 災害時に役立つ情報を集約

緊急時の連絡先や情報収集法、非常持出品リスト、市内の指定避難所など、日頃の防災対策として備え、覚えておきたい項目をまとめました。

安全・安心な暮らしのために、ぜひ目を通し、実践しましょう。

インデックス(見出し)表示で 災害別にガイドします

ページの右端の部分に、災害別にインデックス(見出し)表示をしています。

見たい項目や必要な情報が簡単に見つかります。

